



2024年5月10日

各 位

会 社 名 株式会社 UNIVA・Oak ホールディングス
代表者名 代表取締役会長兼社長グループ CEO 稲葉 秀二
(コード：3113 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役グループ CFO 秋田 勉
(TEL. 03-6682-9884)

**営業外損益、特別損失及び法人税等調整額の計上、
連結業績及び個別業績の前期実績との差異並びに剰余金の配当（無配）に関するお知らせ**

当社は、2024年3月期において、営業外損益、特別損失及び法人税等調整額を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、本日「2024年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表しました連結業績及び個別業績の前期実績との差異並びに2024年3月31日を基準日とする剰余金の配当につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外損益の内容とその金額

(1) 営業外収益

2024年3月期第3四半期累計期間（2023年4月1日～2023年12月31日）において、為替差益176百万円を計上しておりましたが、その後の為替相場の変動により、2024年3月期第4四半期連結会計期間（2024年1月1日～2024年3月31日）において、為替差益194百万円を計上いたしました。これは主として、当社グループが保有する外貨建債権を2024年3月末時点の為替相場で評価したことにより発生したものであります。また、同期間において、関連会社に対する貸付金の利息を計上したことなどにより、受取利息35百万円を計上しておりましたが、2024年3月期第4四半期連結会計期間（2024年1月1日～2024年3月31日）において、受取利息12百万円計上いたしました。その結果、2024年3月期連結会計年度（2023年4月1日～2024年3月31日）における為替差益及び受取利息の計上額はそれぞれ371百万円、48百万円となりました。

(2) 営業外費用

2024年3月期第4四半期連結会計期間（2024年1月1日～2024年3月31日）において、金融機関に対する借入金の支払利息が、15百万円発生したことにより、2024年3月期連結会計年度（2023年4月1日～2024年3月31日）において、支払利息31百万円を計上いたしました。また、2024年3月期第3四半期累計期間（2023年4月1日～2023年12月31日）にお

いて、持分法による投資損失 65 百万円を計上しておりましたが、2024 年 3 月期第 4 四半期連結会計期間（2024 年 1 月 1 日～2024 年 3 月 31 日）において、持分法適用関連会社の業績を取り込んだ結果、持分法による投資損失 24 百万円を計上いたしました。その結果、2024 年 3 月期連結会計年度（2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日）における持分法による投資損失の計上額は 89 百万円となりました。

2. 特別損失の内容及びその金額

減損損失の計上

当社の連結子会社である株式会社ノースエナジー、株式会社ユニヴァ・フュージョン及び株式会社ユニヴァ・ジャイロンについて、当初の事業計画と実績との乖離が大きく今後の事業環境を踏まえ、将来の事業計画を見直した結果、回収可能価額が帳簿価額を下回ったことから、減損損失 754 百万円を計上しております。なお、個別財務諸表において、関係会社株式評価損 1,218 百万円を計上しております。

3. 法人税等調整額（損）の内容及びその金額

2024 年 3 月期第 3 四半期連結累計期間（2023 年 4 月 1 日～2023 年 12 月 31 日）において、子会社に係る繰越欠損金に対して繰延税金資産を計上したことなどにより、法人税等調整額（益）188 百万円を計上しておりましたが、その後、子会社の収益計画の変更に伴い繰延税金資産を取り崩したことにより、2024 年 3 月期第 4 四半期連結会計期間（2024 年 1 月 1 日～2024 年 3 月 31 日）において、法人税等調整額（損）180 百万円を計上いたしました。その結果、2024 年 3 月期連結会計年度（2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日）における法人税等調整額（損）の計上額は、7 百万円となりました。なお、子会社の収益計画の変更に伴い繰延税金資産を取り崩したことにつきましては、2024 年 3 月 28 日に開示した当社連結子会社にかかわる法人税等調整額（損）計上に関するお知らせに記載の通りであります。

4. 連結業績と前期実績との差異

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 連結当期純利益
前期実績（A）	百万円 2,047	百万円 △771	百万円 △582	百万円 △687	円 銭 △9.22
当期実績（B）	5,035	△1,250	△932	△1,428	△17.71
増減額（B－A）	2,987	△479	△350	△740	△8.49
増減率（％）	145.9	－	－	－	－

（差異が生じた理由）

連結売上高の主な増加理由は、2022 年 9 月に連結子会社化した株式会社ユニヴァ・フュージョンの業績を 12 か月フルに取り込んだことによるものです。連結営業損失及び連結経常損失の損失幅拡大は、同社のビジネスモデルが販売促進費先行型であるためであります。親会社株主に帰属する当期純損失の損失幅拡大は、連結子会社の減損損失を計上したためであります。

5. 個別業績と前期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A)	百万円 221	百万円 △341	百万円 △720	百万円 △815	円 銭 △10.94
当期実績 (B)	427	△318	△276	△1,484	△18.41
増減額 (B - A)	205	23	444	△668	
増減率 (%)	92.7	—	—	—	

(差異が生じた理由)

売上高は、金融事業における既存投資先の投資回収を行ったことにより増収となりました。営業損失は、上記増収の要因に加えてコスト削減効果により改善いたしました。経常損失は、関係会社貸付金に対する貸倒引当金繰入額が減少したことにより改善いたしました。当期純損失は、関係会社株式評価損 1,218 百万円計上したため、損失幅が拡大いたしました。

6. 剰余金の配当

(1) 配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想	前 期 実 績 (2023年3月期)
基準日	2024年3月31日	同左	2023年3月31日
1株当たり配当金	0円00銭	未定	0円00銭
配当金総額	—	—	—
効力発生日	—	—	—
配当原資	—	—	—

(2) 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元につきましては、経営成績、財政状態、経営環境及び今後の事業展開に備えるための内部留保も勘案のうえ、継続的に実施することを基本方針としております。

しかしながら、業績動向を勘案した結果、誠に遺憾ながら当期の期末配当を無配とすることといたしました。

以 上